

FCUコントローラ

Infilex™ FC

形WY5205

■ 概 要

Infilex FCは、ファンコイルユニット用のデジタルコントローラです。

ファンコイルユニットの発停・バルブ制御・風量切替制御は元より、セットバック運転や外調機との連動運転などの高度な制御を行えます。

また、居室用のユーザー設定器を接続でき、居住者がファンコイルユニットを操作できます。

Infilex FCは、弊社中央監視装置と通信により接続できます。これにより、ファンコイルユニットのスケジュール運転や運転状態・計測温度などを中央監視できます。



■ 特 長

- 小型
ファンコイルユニット内に、すっきりと納まるコンパクトサイズのコントローラです。
- 制御のバリエーション
各種ファンコイルユニット制御に対応できます。
 - バルブON/OFF制御(以下、ON/OFFタイプ)
 - バルブ比例制御(以下、比例タイプ)
 - 還温度制御付比例制御(以下、還温度制御付比例タイプ)
還温度制御付比例タイプは、還温度制御による往還温度差確保により、一層の省エネルギーに貢献できます。
- BAと組み合わせた高度な制御が可能
外調機との連動運転やペリメータ・インテリアの混合損失防止制御が行えます。
- スタンドアロン動作
スタンドアロンコントローラとしても使用できます。
- 居室用ユーザー設定器の接続
弊社ユーザー設定器(ネオパネル、ネオプレート、ネオパネルワイヤレス)を接続し、居室内から設備機器の運転/停止、温度設定変更ができます。
- 施工方法
入力(配管温度センサ、外部接点)、出力(FCU発停、制御弁)にワンタッチねじレス端子台を使用し、通信、ユーザー設定器、入力(温度センサ)にはモジュラコネクタを使用しているため、配線作業が省力化できます。

安全上の注意

ご使用前に本説明書をよくお読みのうえ、仕様範囲内で使用目的を守って、正しくお使いください。
お読みになったあとは、本説明書をいつでも見られる所に必ず保管し、必要に応じ再読してください。

使用上の制限、お願い

本製品は、一般機器での使用を前提に、開発・設計・製造されています。

本製品の働きが直接人命にかかわる用途および、原子力用途における放射線管理区域内では、使用しないでください。一般空調制御用として本製品を放射線管理区域で使用する場合は、弊社担当者にお問い合わせください。

特に・人体保護を目的とした安全装置・輸送機器の直接制御(走行停止など)・航空機・宇宙機器など、安全性が必要とされる用途に使用する場合は、フェールセーフ設計、冗長設計および定期点検の実施など、システム・機器全体の安全に配慮した上で、ご使用ください。

システム設計・アプリケーション設計・使用方法・用途などについては、弊社担当者にお問い合わせください。

なお、お客様が運用された結果につきましては、責任を負いかねる場合がございますので、ご了承ください。

■ 設計推奨使用期間について

本製品については、設計推奨使用期間を超えない範囲でのご使用をお勧めします。

設計推奨使用期間とは、設計上お客様が安心して製品をご使用いただける期間を示すものです。

この期間を超えると、部品類の経年劣化などから製品故障の発生率が高まることが予想されます。

設計推奨使用期間は、弊社にて、使用環境・使用条件・使用頻度について標準的な数値などを基礎に、加速試験、耐久試験などの科学的見地から行われる試験を行って算定された数値に基き、経年劣化による機能上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期までの期間です。

本製品の設計推奨使用期間は、10年です。

■ 「警告」と「注意」



警告

取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合。



注意

取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合。

■ 絵表示



記号は、危険の発生を回避するために、特定の行為の禁止(左図の例は分解禁止)を表す場合。



記号は、危険の発生を回避するための特定の行為の義務付け(左図の例は一般指示)を表す場合に表示するものです。

⚠ 警告



本製品は必ずD種接地以上に接地してください。不完全な接地の場合、感電のおそれや故障の原因になることがあります。



端子カバーを着脱するときは、配線が活線状態でないことを確認し、結線作業後は端子カバーを元に戻してください。端子カバーをしないと感電するおそれがあります。



配線・保守などの作業は、本製品への電源を切った状態で行ってください。感電のおそれや故障の原因になります。

⚠ 注意



本製品は、仕様に記載された使用条件(温度、湿度、電圧、振動、衝撃、取付方向、雰囲気など)を満たす場所に設置しその仕様の範囲内で使用してください。火災のおそれや故障の原因になることがあります。



取り付けや結線は、安全のため、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。



配線については、内線規程、電気設備技術基準に従って施工してください。



本製品の電源は、端子接続などの恒久的な接続手段により接続してください。



本製品への給電元に電源遮断ブレーカを設けてください。本製品は電源スイッチがないため、本製品側では電源を切れません。



端子台に接続する圧着端子には、絶縁被覆を使用してください。絶縁被覆がないと、短絡して火災のおそれや故障の原因になります。



端子ねじは確実に締めてください。締め付けが不完全だと火災のおそれや発熱の原因になることがあります。



配線の被覆むき長さは、仕様に記載された寸法を守ってください。長すぎると導電部が露出し、感電または隣接端子間で短絡することがあります。短すぎると導電部が接触しないことがあります。

△ 注 意



本製品に定格以上の電圧を印加した場合は、安全のために新品に交換してください。そのまま使用すると、火災のおそれがあります。



本製品を分解しないでください。故障の原因になることがあります。

重要!! • 本製品は、斜め差し込み方式のワンタッチ端子台を採用したため、従来製品を置き換える場合、上下方向のメンテナンススペースが少ない環境では、柄の長いドライバを差し込めないことがあります。柄の短いドライバを用意してください。

■ 形 番

基礎形番	電源	バルブ制御	トランス	外部接点	温度入力	内 容
WY5205						Inflex FC
	W					電源 AC100～240V
	A					電源 AC100V
		1				バルブON/OFF制御
		2				バルブ比例制御
		3				還温度制御付比例制御
			0			バルブ電源用内蔵トランスなし
			1			バルブ電源用内蔵トランスあり*
				0		外部接点入力なし
				1		外部接点入力あり
					0	測温抵抗体 (Pt100)
					K	測温抵抗体 (Pt1000)

* 弊社アクティブバルミニアクチュエータ(形番VY5502A、形番MY5560C)接続専用です。

(注) 1 形番の下5桁は、次の形番が用意されています。

形番WY5205W100*、形番WY5205W200*、形番WY5205W201*、形番WY5205A210*、形番WY5205A211*

形番WY5205W300*、形番WY5205W301*、形番WY5205A310*、形番WY5205A311*

(注) 2 スマートスクリーンには、形番WY5205*3**0と『AI-6572 FCU用コントローラ Inflex FC 仕様・取扱説明書』に記載されている形番WY5205W8000、形番WY5205W9000、形番WY5205A9100のみ接続できます。

重要!! • スマートポイント、サブコントローラマスタ(以下、SCM)(形番WY7222)を使用したシステムには接続できません。

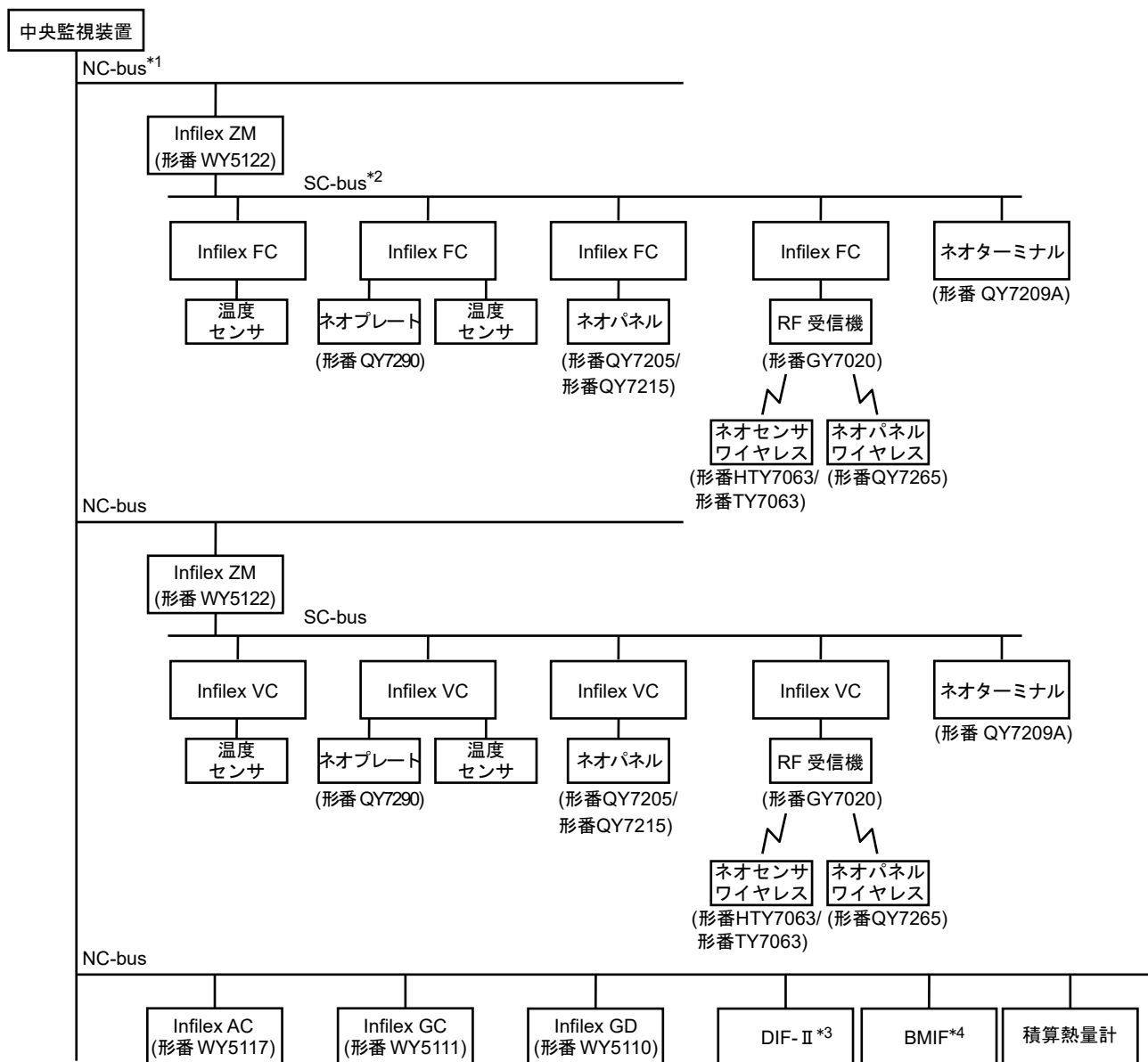
● 別途手配品

項 目		形 番	内 容
補助機器	配管表面温度センサ (ON/OFF・比例タイプ 冷暖自動切替用)	81301851-001	長さ1.3m
		81301851-002	長さ2.5m
	配管表面用温度センサ (還温度制御付比例タイプ 還温度計測用)	TY7820Z0P01	長さ1.5m
		TY7820Z0P05	長さ5m
		TY7820Z0P10	長さ10m
工事部材	モジュラ分岐ユニット	TY7820Z0P30	長さ30m
	モジュラ中継ユニット	DY7203A0000	―――
	モジュラ中継ユニット	DY7202A0000	5個セット
	センサ接続アダプタ	DY7204A0003	Pt100用 (10個セット)
	2端子用コネクタ付短距離ケーブル	DY7221A00*0	Pt1000用 (10個セット)
	モジュラプラグ	DY7207A0100	100個セット
	ブラケット小	DY7208A0001	―――
工事工具	ブラケット大	DY7208A0002	―――
	モジュラ用工具	DY7205A0002	―――
	モジュラ用テスト	DY7206A000	―――

■ システム構成

● システム接続例

接続可能な中央監視装置および各種製品については、弊社担当者までお問い合わせください。



*1 NC-busは、ニューコントローラバスの略称です。

*2 SC-busは、サブコントローラバスの略称です。

*3 DIF-IIは、データギャザリングパネルラインインタフェースIIの略称です。

*4 BMIFは、ビルマルチインタフェースの略称です。

(注) 1. 本製品は、Infilex ZM CODE No.5.0以降に接続されます。

2. Infilex ZM/DIF-II/BMIFの中央監視装置への接続可能台数は、システムによって異なります。

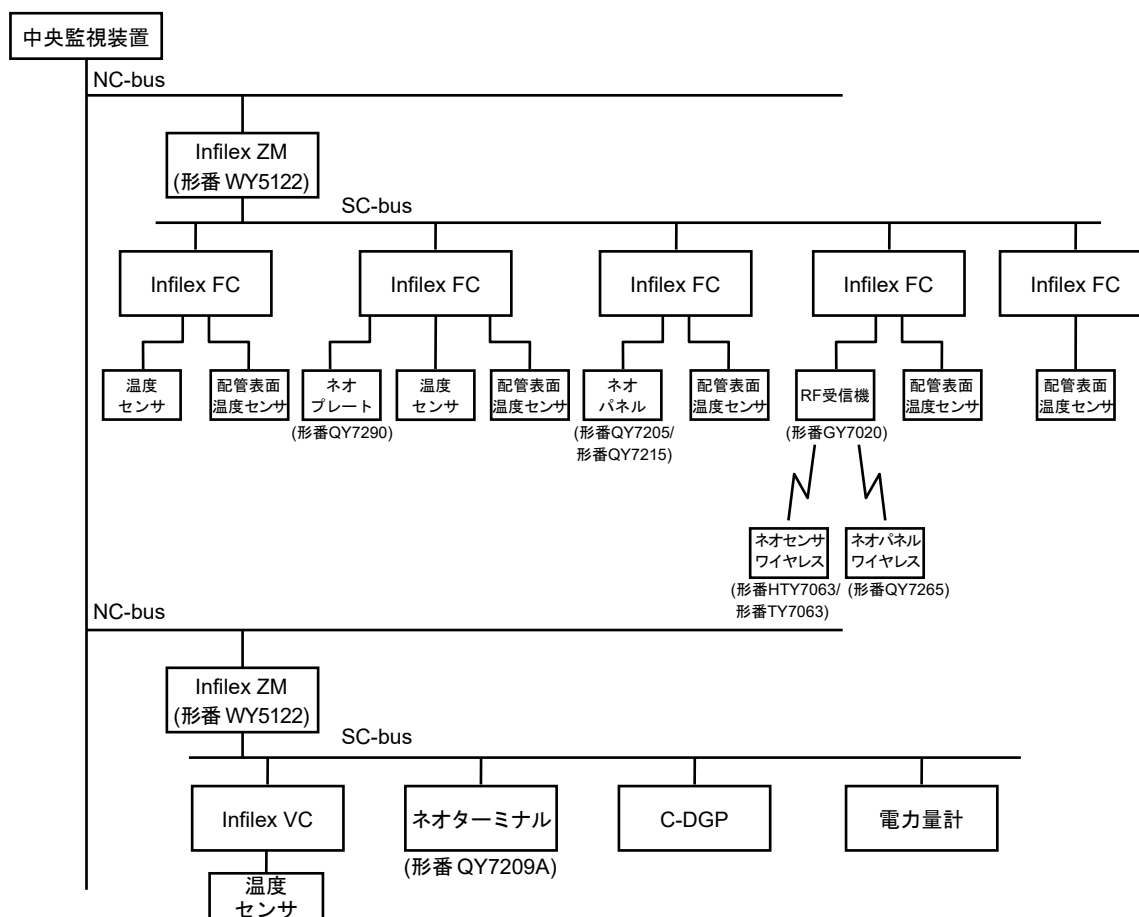
3. SC-bus上にInfilex VC/Infilex FC/Infilex SC/ネオターミナルは50台まで接続できます(ただし、ネオターミナルは10台まで)。

4. 1台のInfilex FCにつき、ネオプレートは1台まで、ネオパネルは2台まで接続できます。

これらは、温度センサと共存できます。

また、ネオパネルワイヤレス、ネオセンサワイヤレスの接続台数や組み合わせについては、『■ワイヤレス機器との接続 表9 Infilex FC接続パターン』を参照してください。

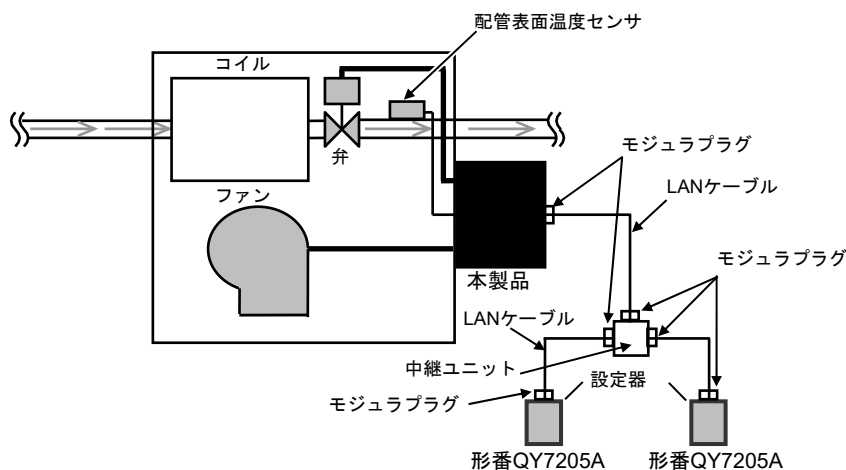
図1 バルブON/OFF制御・バルブ比例制御システム構成



- (注) 1. 本製品は、Inflex ZM CODE No.17.0以降に接続されます。
2. Inflex ZMの中央監視装置への接続可能台数は、システムによって異なります。
3. SC-bus上にInflex VC/Inflex FC/Inflex SC/ネオターミナルは50台まで接続できます(ただし、ネオターミナルは10台まで)。
4. 1台のInflex FCにつき、ネオプレートは1台まで、ネオパネルは2台まで接続できます。
 これらは、温度センサと共存できます。
 また、ネオパネルワイヤレス、ネオセンサワイヤレスの接続台数や組み合わせについては、『■ワイヤレス機器との接続 表9 Inflex VC/Inflex FC接続パターン』を参照してください。

図2 還温度制御付比例制御システム構成

●スタンドアロン例



- (注) システム接続の設定をした場合は、配管表面温度センサによる冷温水判断はできません。

図3 Inflex FCを冷温水弁、設定器2台と接続例

■ 仕 様

● 基本仕様

項 目			仕 様
電源仕様	定格電源	WY5205A *1	AC100V 50/60Hz
		WY5205W	AC100～240V 50/60Hz
	使用電源電圧	WY5205A	AC90～110V
		WY5205W	AC85～264V
	消費電力	バルブON/OFF制御	6VA以下
		バルブ比例制御	7VA以下
		還温度制御付比例制御	7VA以下
環境条件	定格動作条件	周囲温度	0～50℃
		周囲湿度	10～90%RH (ただし、結露しないこと)
		標高	2,000m以下
		振動	3.2m/s2 以下 (at10～150Hz)
	輸送・保管条件	周囲温度	－20～60℃
		周囲湿度	5～95%RH (ただし、結露しないこと)
		振動 (輸送)	9.8m/s2 以下 (at10～150Hz)
		振動 (保管)	3.2m/s2 以下 (at10～150Hz)
設置場所			ファンコイルユニット側面、天井裏、制御盤、ボックス内部
取付			M4、L=10ねじ 2か所にてねじ止め
アドレス設定			ロータリスイッチによる
質量	バルブON/OFF制御		270g (本体のみ)
	バルブ比例制御		480g (本体のみ)
	還温度制御付比例制御		480g (本体のみ)
主要部材質			変性PPE樹脂 UL-V0相当

*1 アクティブバルミニ内蔵トランスを使用する場合は、形番WY5205Aを使用してください。
 この場合のバルブ接続台数は、1出力につき1台となります(並列接続はできません)。

● 入出力仕様

(1/2)

接続対象	入出力内容	入出力仕様	
温度センサ	温度入力	計測レンジ	0～50℃
		入力信号	測温抵抗体 (Pt100)
			測温抵抗体 (Pt1000)
配管表面用温度センサ (還温度制御付比例タイプ)	還水温度入力	計測レンジ	0～80℃
		入力信号	測温抵抗体 (Pt100)
配管表面温度センサ (ON/OFF・比例タイプスタンドアロン時)*2	配管温度入力 (冷暖切替用)	計測レンジ	0～50℃ (形番81301851-001/ 形番81301851-002)
外部リレーなど (ON/OFF・比例タイプスタンドアロン時)*2	接点入力 (冷暖切替用)	接続可能出力	無電圧接点 (メンテナンス接点) ・ ただし、最小適用負荷0.1mA 以下に限ります。

*2 Inflex FCをスタンドアロンで使用する場合は、冷暖切替に配管表面用温度センサによる配管温度入力、または外部リレーなどによる接点入力のいずれかを使用します。

接続対象	入出力内容	入出力仕様		
制御弁*2	ON/OFF出力 (ON/OFFタイプ) フローティング比例 出力 (比例タイプ・還温度 制御付比例タイプ)	接続可能出力	有電圧a接点	
		接点容量	0.8A/ AC125V以下 0.4A/ AC250V以下	
		最小適用負荷	10mA ● ON/OFFタイプは、ファン電源 がそのまま出力電源となります。 ON-OFFバルブの電源定格を FCU電源と合うように選定し てください。	
ファン	ファン発停出力 風量切替出力	M/H出力	接続可能出力	無電圧a接点
			接点容量	3A/AC125V 以下 1.5A/AC250V 以下
			最小適用負荷	10mA
		L出力	接続可能出力	無電圧a接点
			接点容量	6A/AC125V 以下 3A/AC250V 以下
			最小適用負荷	10mA
ネオパネル/RF受信機	温度設定 空調発停など	信号方式	シリアル電圧伝送	
		伝送速度	100bps	
ネオプレート	空調スイッチ	接続可能出力	無電圧接点×1 (瞬時接点)	
		印加電圧	12V typ.	
		印加電流	10mA typ.	
	LED出力	出力方式	トランジスタ出力 有電圧	
		出力電流	DC10mA typ.	
		出力電圧	DC12V typ.	
		出力制限抵抗	1.2KΩ typ.	
温度設定入力	ポテンショ入力 (1kΩ～10kΩ)			
通信	SC-bus	信号方式	シリアル電圧伝送	
		伝送速度	4800bps	
電源	―――	形番 WY5205A	AC100V (AC90～110V)	
		形番 WY5205W	AC100～240V (AC85～264V)	
外部スイッチなど	接点入力	接続可能出力	無電圧接点×1 (メインテナンス接点)	
		印加電圧	12V typ.	
		印加電流	5mA typ.	

*2 フルストローク時間が30秒未満の比例タイプの制御弁は、接続できません。
詳細は、弊社担当者にお問い合わせください。

■ 配線仕様

項 目	接続方法	配 線	配線長
温度センサ (測温抵抗体 (Pt100))	コネクタ接続*1	LANケーブル*2	50m以下
温度センサ (測温抵抗体 (Pt1000)) ^{*3}	コネクタ接続*4	1.25~2.5mm ² +コネクタケーブル(形番DY7221A)	
配管表面用温度センサ (還温度制御付比例タイプ)	ワンタッチねじレス 端子台	配管表面用温度センサ(形番TY7820Z)センサー一体3心ケーブル	30m以下
		CVV 1.25mm ² -3C相当	
		IV 1.25mm ² ×3本	
		CVV 1.25mm ² 相当	
配管表面温度センサ (ON/OFF・比例タイプスタンダードアロン時) ^{*2}			50m以下
外部リレーなど (ON/OFF・比例タイプスタンダードアロン時)			
制御弁		AC24V CVV 1.25mm ² 相当	
		AC100V CVV 2.00mm ² 相当	
ファン		CVV 2.00mm ² 相当	
ネオパネル/RF受信機	コネクタ接続*1	LANケーブル*2	50m以下
ネオプレート			
通信			1km以下 (総延長)
電源	端子台接続 M3.5端子台	CVV 2.00mm ² 相当	-----
外部スイッチなど	ワンタッチねじレス端子台	CVV 1.25mm ² 相当	50m以下

*1 コネクタは、次のものを使用してください。プラグ:形番SS-37000-002 (Bel Stewart Connector)

なお、弊社工事部材(モジュラプラグ:形番DY7207A0100 100個入り)として同一のものを用意しています。

*2 LANケーブルは、EIA/TIA-568に準拠した Category 3 (Φ0.5 mm×4芯)以上のケーブルを使用してください。

コネクタ付ケーブル 形番DY7210、短距離コネクタ付ケーブル 形番DY7220は、*1のコネクタを使用し、弊社工場で制作した通信ケーブルです。

工事部材として手配できます。

*3 測温抵抗体(Pt1000)の温度入力部は、2線式のため、リード線の配線抵抗が計測誤差となります。

断面積1.25mm²の場合、10mあたり約0.1℃程度の計測誤差となります。必要に応じて、コントローラ側で調整してください。

*4 2端子用コネクタケーブル短距離モデル(形番DY7221A)を使用して結線してください。

これ以外のケーブルは、適用外です。

■ 外形寸法

● ON/OFFタイプ

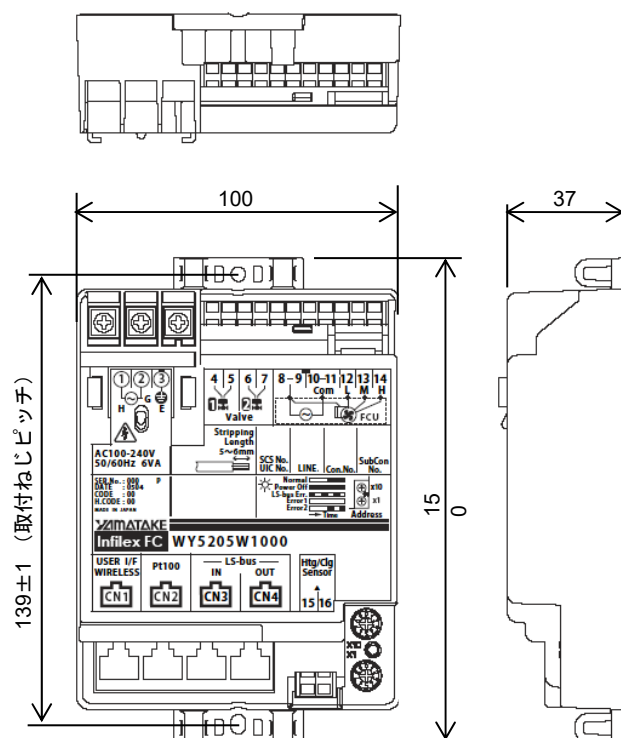


図4 外形寸法 (mm)

● 比例タイプ

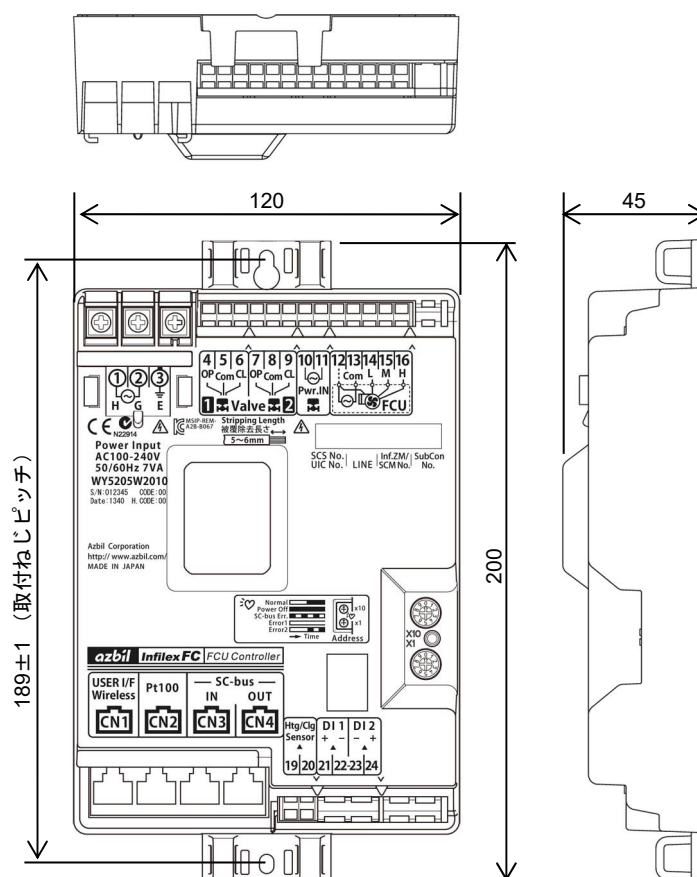


図5 外形寸法 (mm)

● 還温度制御付比例タイプ

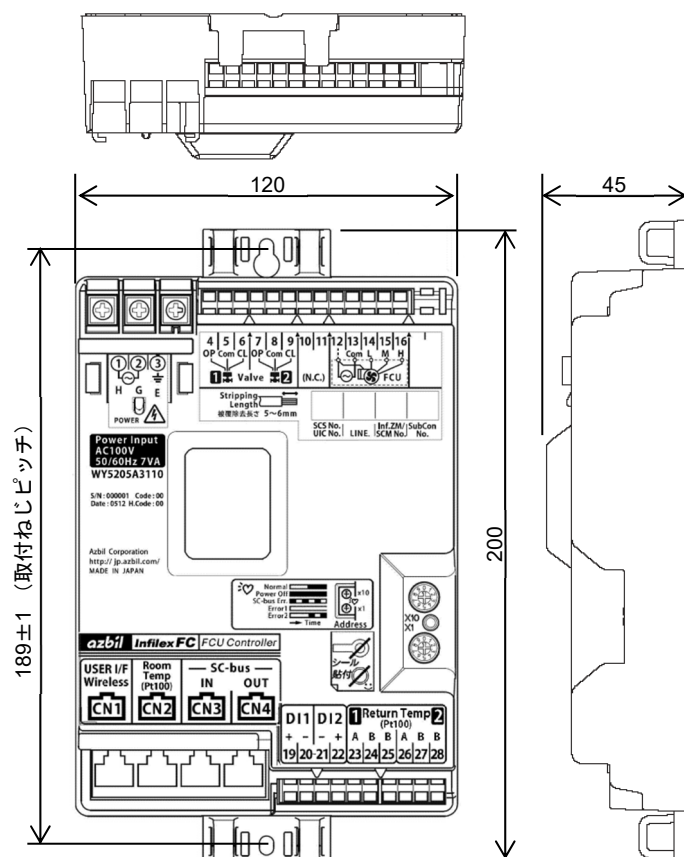


図6 外形寸法 (mm)

(注) 図4～図6の外形寸法図には、例として「温度入力：測温抵抗体(Pt100)」を使用しています。
温度入力：測温抵抗体(Pt100)、測温抵抗体(Pt1000)共に、外形寸法は、それぞれ同じになります。

■ 取 付

⚠ 注 意

❗ 本製品は、仕様に記載された使用条件(温度、湿度、電圧、振動、衝撃、取付方向、雰囲気など)を満たす場所に設置しその仕様の範囲内で使用してください。
火災のおそれや故障の原因になることがあります。

❗ 取り付けや結線は、安全のため、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。

● 取り付け時の注意

- 確実に本製品をねじ止めし、ぐらつきなどがないようにしてください。
- 本製品の周囲に『図7、8 メンテナンス用スペース』に示すようなメンテナンス用スペースを確保してください。
- 取付面が鉛直方向になるように、取り付けてください。
また、製品の銘板が確認できる位置に取り付けるようにしてください。

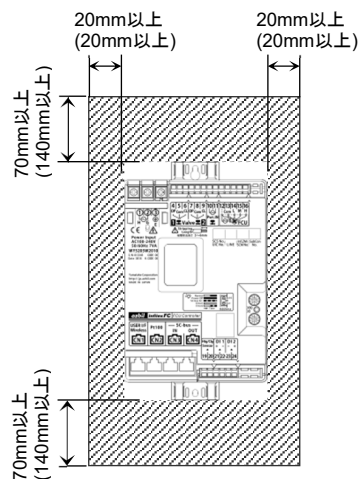


図7 メンテナンス用スペース正面図

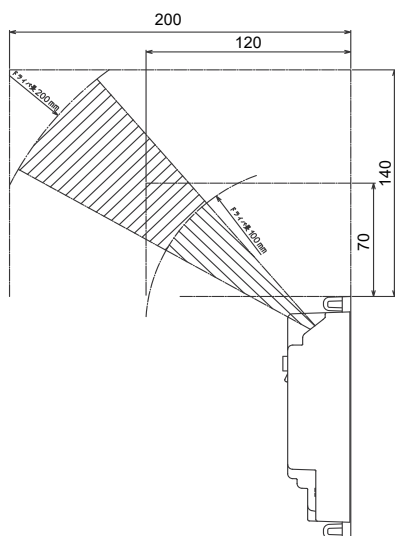


図8 メンテナンス用スペース側面図
(ドライバー長100mm(200mm)の場合)

- 従来製品を置き換える場合は、上下方向のメンテナンススペースが少なく柄の長いドライバを差し込めない場合があります。柄の短いドライバをご用意いただくか、配線を行ったあと、本体をねじで固定するようにしてください。
- 防じん構造のボックスなどに格納されていない場合は、『図9 A』に示すような設置は行わないでください。コネクタ内に粉じんがたまりやすくなります。

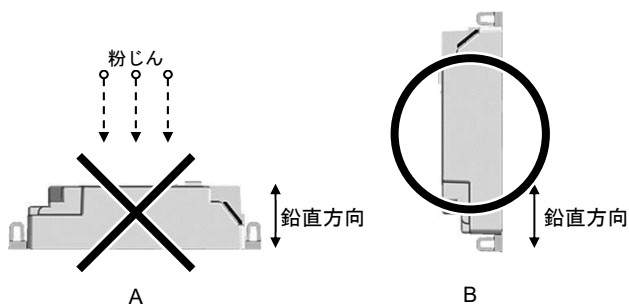


図9

●ねじ直接取付

- (1) M4のねじ穴をあけます。
 - ON/OFFタイプ
ピッチ139mm±1mm
 - 比例・還温度制御付比例タイプ
ピッチ189±1mm

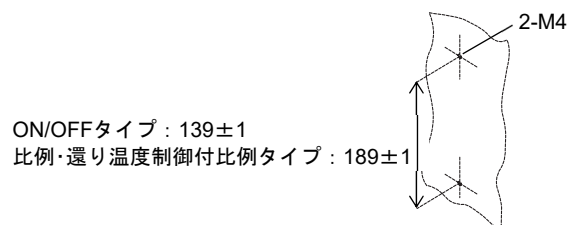


図10

- (2) M4ねじ2本で本体を取り付けます。
- (3) ぐらつきがなく、外れないことを確認します。

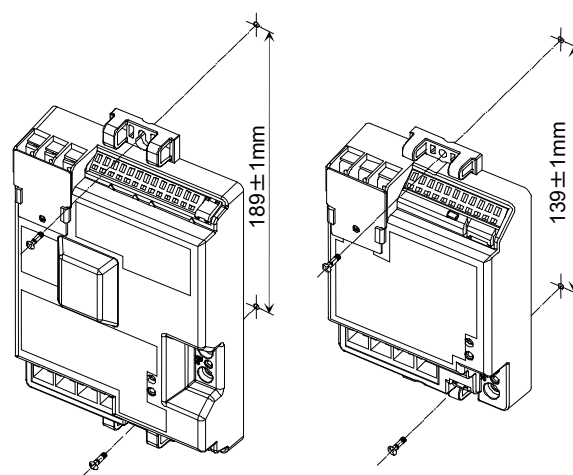


図11

重要!! ●ねじの長さに注意してください。
長すぎると取付面裏側の機器を破損するおそれがあります。
本製品のねじ取付部は、座厚5mmです。
IFC(旧製品)取付用ねじを使用する場合は、取付面裏側への突出長が約15mm増えます。

●天吊りボルト(W3/8、またはφ9)取付

- (1) 上下ねじ取付用穴の両側に開いた穴を利用し、束線バンド二本で固定できます。

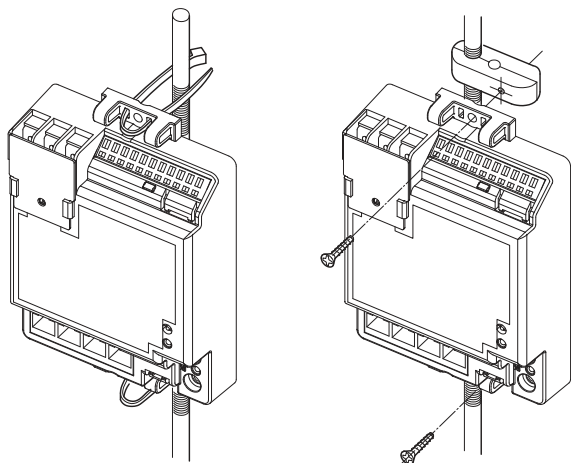


図12

- 天吊りボルトに取り付ける場合は、ボルトの軸を中心に機器が回転することがあります。配線時に線材に強い張力が掛からないよう注意してください。
 - ネグロス電工(株)製の「JBFB(2個)」を使用した取り付けにも対応します。
 - IVC、IFC向けに用意されていた取付ブラケット(小型：形番DY7208A0001、大型：形番DY7208A0002)も、そのまま適用できます。
- (2) ぐらつきがなく、外れないことを確認します(取付のための部品を含む)。

■結 線

⚠ 警 告

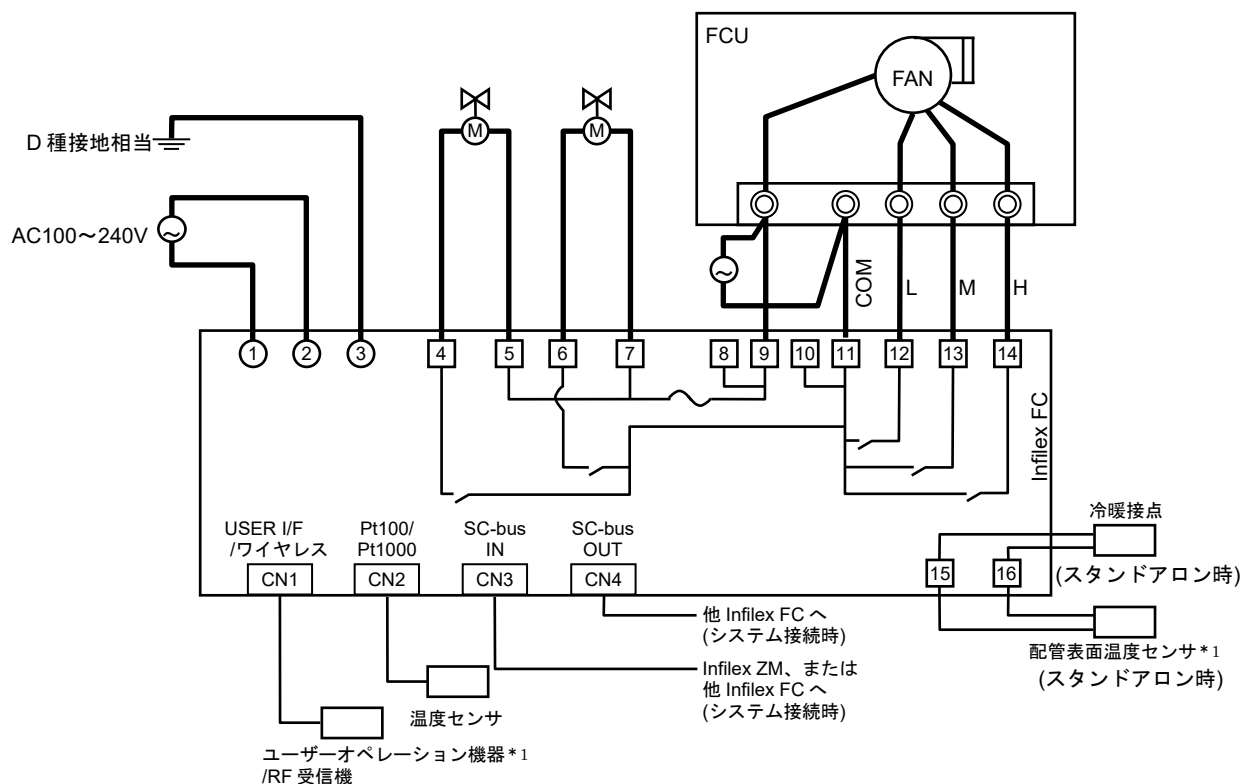
- ⚡ 本製品は必ずD種接地以上に接地してください。不完全な接地の場合、感電のおそれや故障の原因になることがあります。
- ❗ 端子カバーを着脱するときは、配線が活線状態でないことを確認し、結線作業後は端子カバーを元に戻してください。端子カバーをしないと感電するおそれがあります。
- ❗ 配線・保守などの作業は、本製品への電源を切った状態で行ってください。感電のおそれや故障の原因になります。

⚠ 注 意

- ❗ 取り付けや結線は、安全のため、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。
- ❗ 配線については、内線規程、電気設備技術基準に従って施工してください。
- ❗ 本製品への給電元に電源遮断ブレーカを設けてください。本製品は電源スイッチがないため、本製品側では電源を切れません。
- ❗ 端子台に接続する圧着端子には、絶縁被覆を使用してください。絶縁被覆がないと、短絡して火災のおそれや故障の原因になります。
- ❗ 端子ねじは確実に締めてください。締め付けが不完全だと火災のおそれや発熱の原因になることがあります。
- ❗ 配線の被覆むき長さは、仕様に記載された寸法を守ってください。長すぎると導電部が露出し、感電または隣接端子間で短絡することがあります。短すぎると導電部が接触しないことがあります。
- ❗ 本製品に定格以上の電圧を印加した場合は、安全のために新品に交換してください。そのまま使用すると、火災のおそれがあります。

● ON/OFFタイプの結線

重要!! •バルブ出力に対する電源は、FCUから本製品経由で供給します。
 FCUとバルブの電源は分けられません。
 したがって、スプリングリターンタイプのバルブを使用しなければ、ファン電源がOFFになっても、バルブは開度0%にはなりません (開度0%位置になっている場合は除く)。



*1 スタンドアロン時、ユーザーオペレーション機器としてネオプレートを使用し、配管表面温度センサによる冷暖切替を実施する場合は、本製品のバルブ比例タイプに接続してください(図14)。

図13 形番WY5205W100*

表1 バルブに対する結線

接続対象	端子4-5間	端子6-7間
冷水弁	冷水弁	接続しない
温水弁	温水弁	接続しない
冷温水弁	冷温水弁	接続しない
冷水弁+温水弁	冷水弁	温水弁
冷水弁+冷温水弁*	冷水弁	冷温水弁

* バルブの開順序は、パラメータにより選択できます。

ネオプレートでファンコイルをOFFからL/M/H(運転状態)にしても、本製品にはファンコイルの状態変化がわかりません。

したがって、配管温度センサによる冷温水判断はしません。

やむを得ず配管温度センサで冷温水判断をする場合は、本製品のバルブ比例タイプを選択し、電源ステータス監視を使用して、ON/OFF弁の機能に変更してください。

(注) 詳細は、弊社販売員にお問い合わせください。

バルブ比例タイプをON/OFF弁機能で利用する場合のバルブとコントローラの接続は、コントローラの

端子4-5間、端子7-8間にそれぞれバルブ1・バルブ2を接続してください。

なお、バルブの電源は、外部より供給するようにしてください。

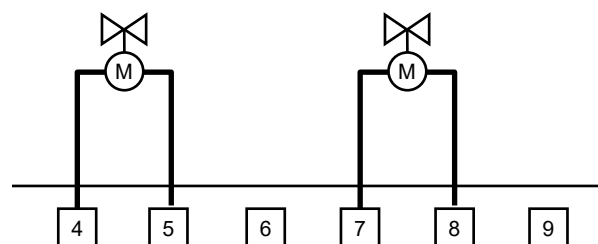


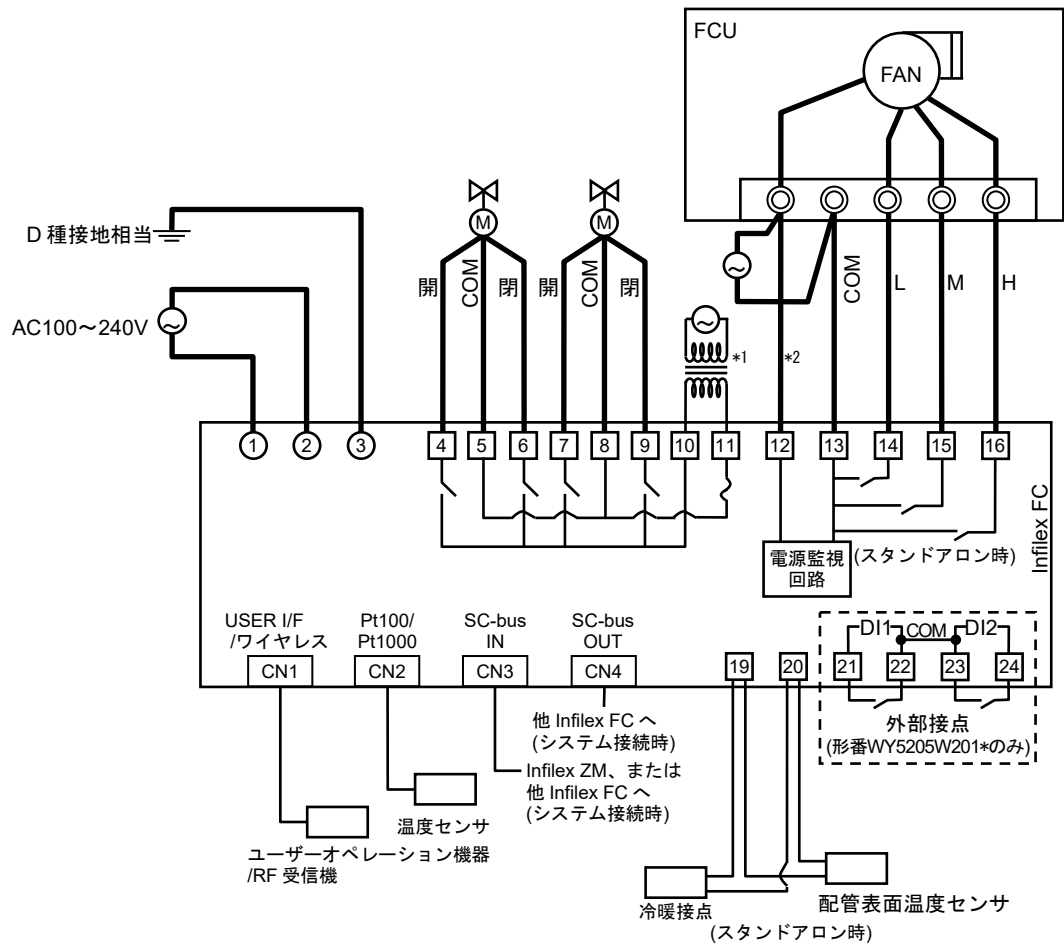
図14 バルブ比例タイプをON/OFF弁機能で利用する場合

● 比例タイプ (形番WY5205W**** (内蔵トランスなしタイプ))の結線

アクティブバルミニ(形番VY5502A、形番MY5560C)以外を接続する場合(フルストローク時間が30秒未満の制御弁は接続できません)、または1出力に複数台のアクティブバルミニを並列接続する場合(個別にリレー接点で電源を印加させるようにしてください)に使用します。

重要!!

- 24時間系統などの連続運転を必要とする場合は、正しい制御をするために最低1日に1回、バルブを開度0%、または開度100%にしてください。
- 強制全開/全閉動作は、パラメータにより設定できます。



- *1 必要に応じてトランスを用意します。
- *2 スタンドアロン時のみ配線します。

図15 形番WY5205W200*/形番WY5205W201*

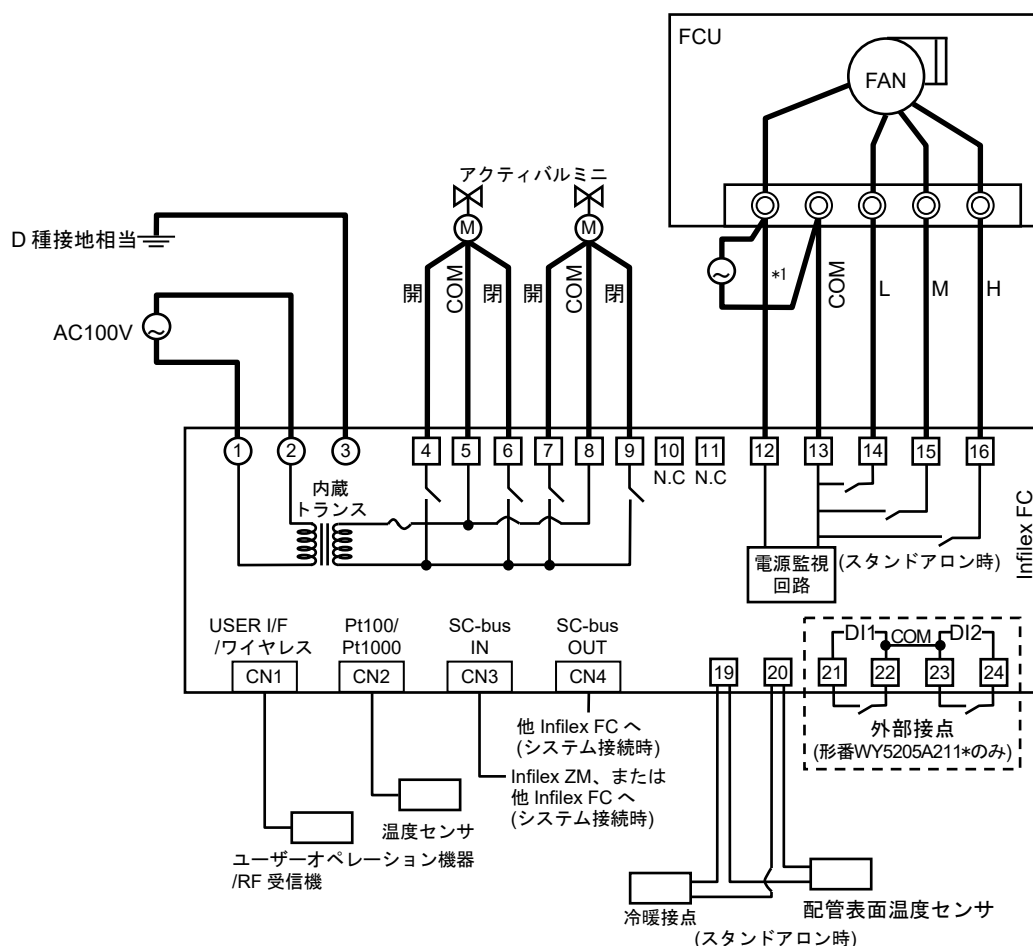
表2 バルブに対する結線

接続対象	端子4－5－6間	端子7－8－9間
冷水弁	冷水弁	接続しない
温水弁	温水弁	接続しない
冷温水弁	冷温水弁	接続しない
冷水弁＋温水弁	冷水弁	温水弁
冷水弁＋冷温水弁 ^{*3}	冷水弁	冷温水弁

^{*3} バルブの開順序は、パラメータにより選択できます。

● 比例タイプ (内蔵トランスあり)の結線

- 重要!!**
- バルブ電源をコントローラから供給する場合は、入力電源はAC100Vのみとなります。
 - 内蔵トランスは、アクティブバルブミニアクチュエータの1出力につき1台駆動専用です。それ以外の用途では「形番WY5205W20**」を使い、外部から電源供給をしてください。
 - 24時間系統などの連続運転を必要とする場合は、正しい制御をするために最低1日に1回、バルブを開度0%、または開度100%にしてください。
強制全開/全閉動作は、パラメータにより設定できます。



*1 スタンドアロン時のみ配線します。

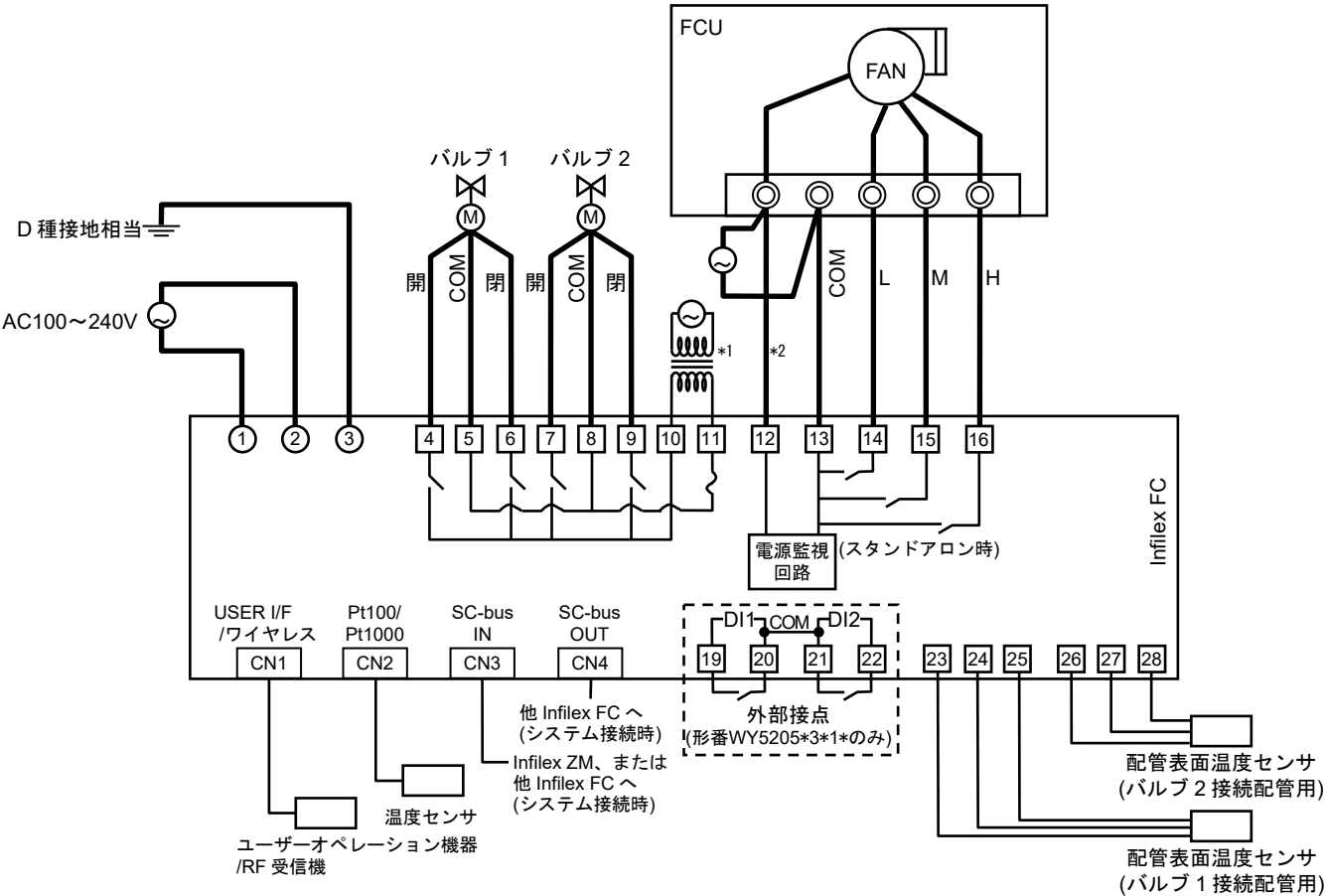
図16 形番WY5205A210*/形番WY5205A211*

表3 バルブに対する結線

接続対象	端子4-5-6間	端子7-8-9間
冷水弁	冷水弁	接続しない
温水弁	温水弁	接続しない
冷温水弁	冷温水弁	接続しない
冷水弁+温水弁	冷水弁	温水弁
冷水弁+冷温水弁*2	冷水弁	冷温水弁

*2 バルブの開順序は、パラメータにより選択できます。

● 還温度制御付比例タイプ (内蔵トランスなし)の結線



- *1 必要に応じてトランスを用意します。
- *2 スタンドアロン時のみ配線します。

図17 形番WY5205W300*/形番WY5205W301*

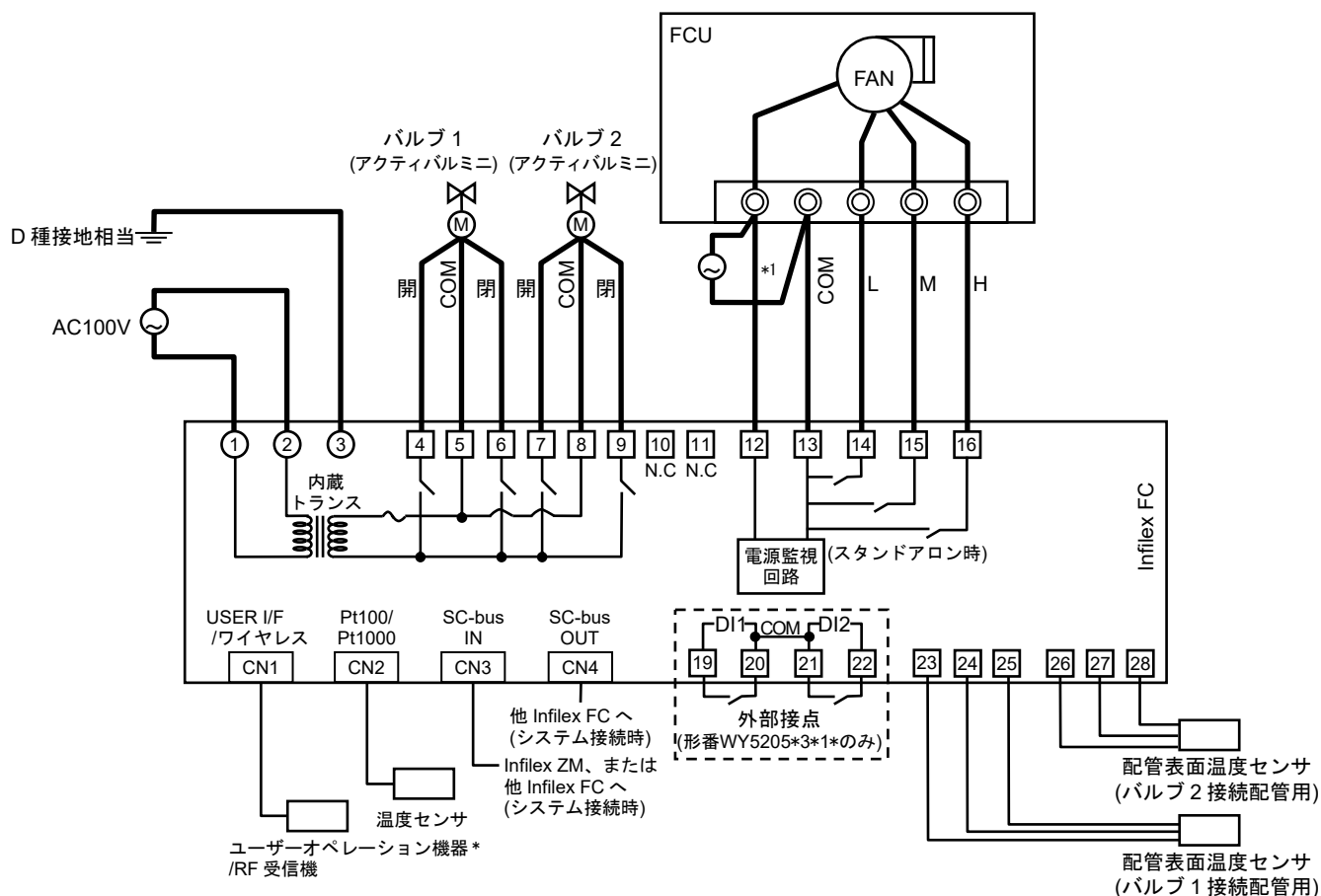
表4 バルブに対する結線

接続対象	端子4－5－6間	端子7－8－9間
冷水弁	冷水弁	接続しない
温水弁	温水弁	接続しない
冷温水弁	冷温水弁	接続しない
冷水弁＋温水弁	冷水弁	温水弁
冷水弁＋冷温水弁*3	冷水弁	冷温水弁

*3 バルブの開順序は、パラメータにより選択できます。

●還温度制御付比例タイプ (内蔵トランスあり)の結線

- 重要!!**
- バルブ電源をコントローラから供給する場合は、入力電源はAC100Vのみとなります。
 - 内蔵トランスは、アクティブバルブミニアクチュエータの1出力につき1台駆動専用です。それ以外の用途では形番WY5205W30**を使い、外部から電源供給をしてください。
 - 24時間系統などの連続運転を必要とする場合は、正しい制御をするために最低1日に1回、バルブを開度0%、または開度100%にしてください。
強制全開/全閉動作は、パラメータにより設定できます。



*1 スタンドアロン時のみ配線します。

図18 形番WY5205A310*/形番WY5205A311*

表5 バルブに対する結線

接続対象	端子4-5-6間	端子7-8-9間
冷水弁	冷水弁	接続しない
温水弁	温水弁	接続しない
冷温水弁	冷温水弁	接続しない
冷水弁+温水弁	冷水弁	温水弁

(注) 冷水弁+冷温水弁タイプの場合は、「内蔵トランスなし」を選択してください。

●推奨電線

推奨電線は、『■配線仕様』を参照してください。

●電源ケーブルの結線

M3.5用の圧着端子を取り付け、ねじ端子に接続します。

重要!! ・ねじ端子への取付は、98N・cm以上のトルクでは締めないようにしてください。

●ワンタッチねじレス端子台の結線

配管温度センサ(スタンドアロン時のみ)・外部接点入力・FCU発停出力・制御弁出力は、ワンタッチねじレス端子台で受けています。

次の手順で結線してください。

- (1) 端子を覆っている防じんカバーを必要に応じてはがします。
- (2) 電線の被覆を5～6mm除去します。
(注) 寸法の目安がラベル上に印刷されています。
被覆の除去長さを守らないと、導体部が露出したり、電線の保持力が低下したりして危険です。厳守してください。
- (3) 除去した部分にヒゲなどが出ていないことを確認します。
- (4) ワンタッチねじレス端子台に結線します。

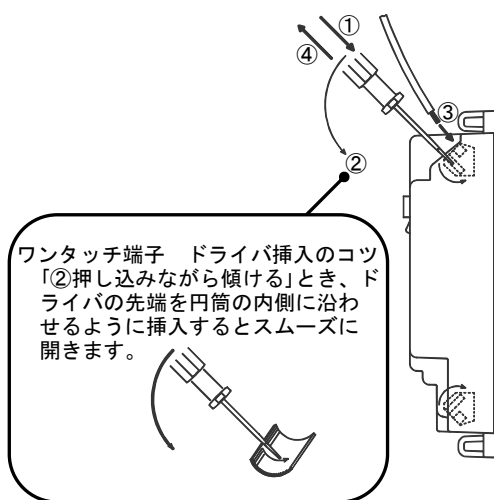


図19

- ① 小さな方の角穴にマイナスドライバーを差し込みます。
ドライバーは、奥まで(約10mm)しっかりと差し込んでください。
- ② 押し込みながら傾けます。
円筒の内側に沿うようにするとスムーズに入ります。
奥まで差すと、ドライバーが差し込まれた状態で固定します。
適切なドライバーを正しく操作すれば、手を離しても保持されます。

(注) 1. ドライバは、「刃先が幅3.5mm、厚さ0.5mm」程度のストレートタイプが適しています。
刃先から軸にかけて幅が広がるものは適合しない場合があります。

適合例：Vessel社製 形番9900 (3×100)
Vessel社製 形番910 (3×75)

2. 斜め差し込み式のワンタッチコネクタを採用したため、ドライバーの長さにより、上下方向のメンテナンススペースが変動します。
従来品から置き換えを行うときに上下方向の余剰スペースが少ない場合は、柄の長い(80mm以上)のドライバーだとワンタッチ端子台に差し込めないことがあります。

- ③ 大きい方の角穴に被覆を5～6mmむいた電線を突き当たるまで差し込みます。

- ④ 電線を押さえたまま、ドライバーを引き抜きます。

(注) FCU発停出力、制御弁出力の配線は、『●各タイプの結線』を参照してください。

- (5) 電線を軽く引っ張り、電線が固定されたことを確認してください。

- (6) ケーブルを束線バンドで固定します。

- (注) 1. ケーブルを固定しないと、ケーブルが強く引っ張られた場合に製品が故障するおそれがあります。
2. モジュラプラグ付ケーブルと電源ケーブルは、別々に束線してください。

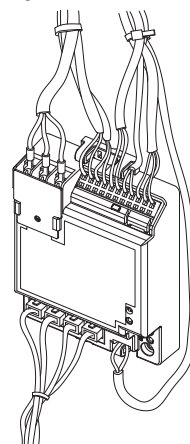


図20

重要!! ・機器前面が配線で覆われないようにしてください(図21参照)。

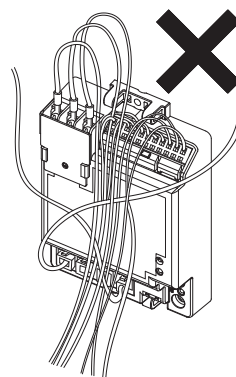


図21

●被膜外径1.8mm以下の電線をワンタッチねじレス端子台に接続する場合

アクティブバルミニアクチュエータ(形番VY5502A、形番MY5560C)のケーブルなど、ワンタッチねじレス端子台に細い電線を接続すると、挿入口に隙間が空きます。

この部分に埃が堆積すると、金属部がショートするなどの不具合が発生することがあります。

このため、チューブに配線を通して端子台挿入口の金属部が覆われるようにしてください(図23参照)。チューブは、必要に応じて別途手配してください。

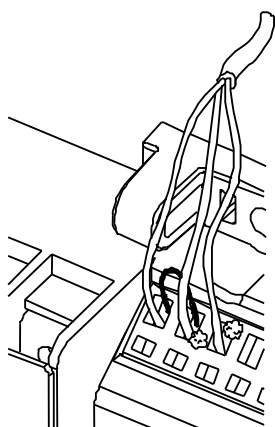


図22 ワンタッチねじレス端子台への結線

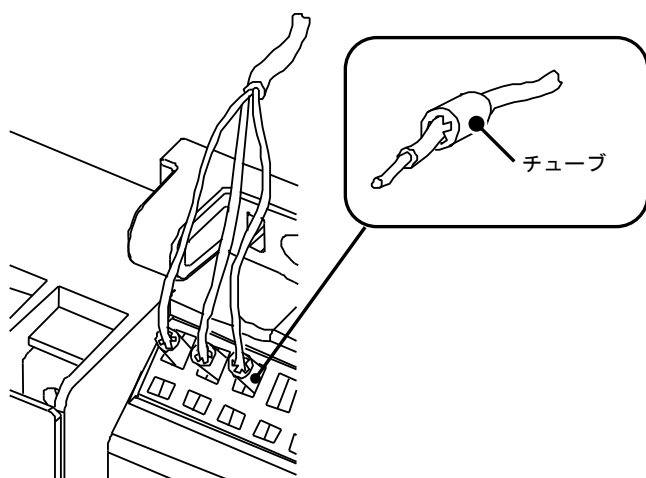


図23 チューブ

●モジュラコネクタの端末処理

設定器線・温度センサ線は、モジュラコネクタで受けています。

●モジュラコネクタの構成

モジュラコネクタは、モジュラプラグ(オス)とモジュラジャック(メス)とから構成されます。

●モジュラジャックは、あらかじめコントロールユニット側に準備されています。

●モジュラプラグは、現場にてLANケーブルに圧着する必要があります。

ここでは、LANケーブルにモジュラプラグを取り付け、モジュラジャックに接続するところまでを説明します。

(注) 推奨モジュラプラグ

モジュラプラグは、弊社推奨品を使用してください。

(1) LANケーブルの外側被覆をはがします。

LANケーブルの外側被覆をはがすと、8心の内線が確認できます。

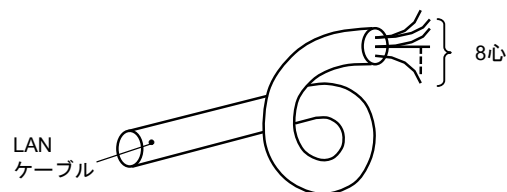


図24

(2) 8心の内線の配線順番を整えます。

このとき『表6』を参照にし、配線色を整えてください(典型例を示します)。

8心の内線被覆は、傷付けたり、はがしたりしないようにしてください。

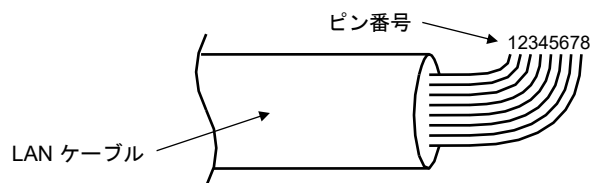
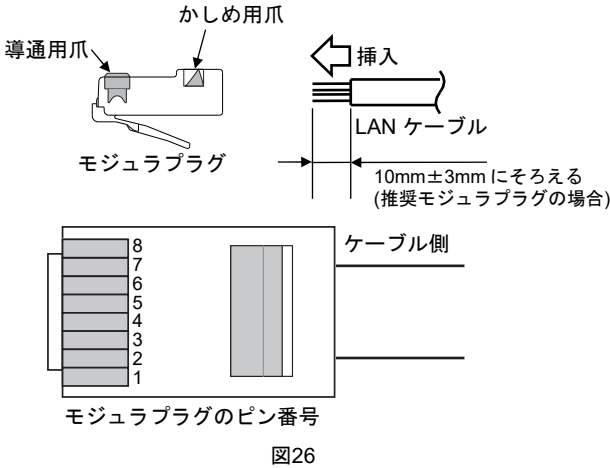


図25

表6

ピン番号	配線色	その他
1	白・橙	第2対の第2線
2	橙	第2対の第1線
3	白・緑	第3対の第2線
4	青	第1対の第1線
5	白・青	第1対の第2線
6	緑	第3対の第1線
7	白・茶	第4対の第2線
8	茶	第4対の第1線

- (3) モジュラプラグに整えたLANケーブルの内線を挿入します。
『図26』は、モジュラプラグの導通用爪を上にして見たときの配列です。
- このとき、内線の先端は、ニッパなどで同じ長さとなるよう整えてください。
 - 内線を長くし過ぎないように、注意してください。
圧着を失敗します。

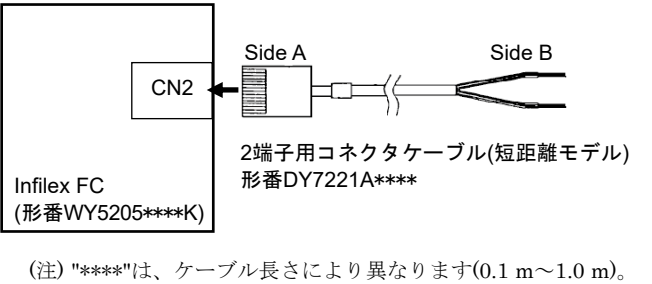


- (4) モジュラ用工具で圧着を行います。
- モジュラプラグは、先端の導通用爪を圧着時に内線に差し込み、通電を確保します。
 - 強度は、LANケーブルの外側被覆のかしめ用爪で確保します。
この2か所を確認してください。
- (5) LANケーブルの両側にモジュラプラグを取り付けます。
- (6) 導通の確認を行います。
- 内線の順番とモジュラプラグの先端爪が内線に刺さっていること。
 - ケーブルの破損、切断がないこと。
- (注) モジュラ用テスト (形番DY7206A0000) を用いると、簡単に確認ができます。
- (7) モジュラジャックへ接続します。
導通の確認ができたなら、本製品にあらかじめ準備してあるモジュラジャックへ取り付けます。
また、設定器側も取り付けます。
- (注) モジュラプラグとモジュラジャックを接続するときは、「カチャッ」と音がするまで差し込みます。
軽く引っ張って抜けないことを確認してください。

●Pt1000温度センサの接続

Pt1000温度センサのケーブルを本製品のモジュラコネクタに結線するときは、2端子用コネクタケーブル(短距離モデル(形番DY7221A))が必要です。

- (1) 形番DY7221Aのモジュラプラグを本製品のCN2コネクタに接続します。



(注) "****"は、ケーブル長さにより異なります(0.1 m～1.0 m)。

2端子用コネクタケーブル(形番DY7221A)のピン配列(side A-side B間)については、『表7』を参照してください。

表7

Side A		Side B	
線色	ピン番号		
橙	1	●	●
橙・白	2	●	
緑	3	●	
青・白	4	●	
青	5	●	●
緑・白	6	●	
茶	7	●	
茶・白	8	●	

- (2) 2端子用コネクタケーブルのSide BとPt1000温度センサのケーブルを絶縁スリーブでつなぎ合わせます。
- (注) Pt1000の温度センサは、2線式です。
配線抵抗値がそのまま計測温度の誤差となるため、配線抵抗の大きいLANケーブルを長くするほど、計測誤差も大きくなります。2端子用コネクタケーブル(形番DY7221A) 長さ0.1～1.0mを使用し、温度センサのケーブル(1.25～2.5mm²)を必要に応じて伸ばしてください。

■ 工事部材

工事部材の用途を説明します。

● 使用上の注意事項

- モジュラ分岐ユニット、モジュラ中継ユニット、設定器/センサ接続アダプタは、必ずアウトレットボックス、または盤内で使用してください。
- モジュラプラグとモジュラジャックを接続するときは、「カチャッ」と音がするまで差し込みます。軽く引っ張り、抜けないことを確認してください。

● モジュラ分岐ユニット

設定器2台接続時に設定器用通信線を分岐する場合に使用します。

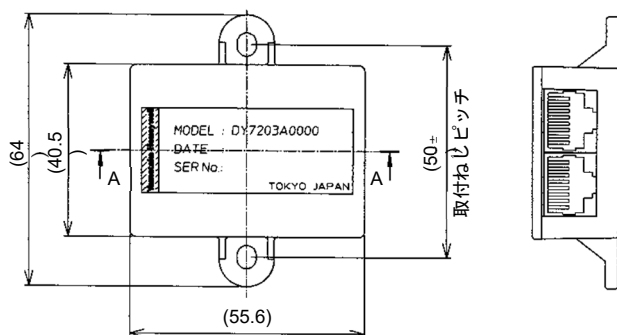


図28 モジュラ分岐ユニット (形番DY7203A0000)

● モジュラ中継ユニット

設定器用通信線を継ぎ足す場合に使用します。

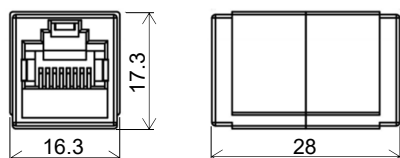


図29 モジュラ中継ユニット (形番DY7202A0000)

● 設定器接続アダプタ

アナログ設定器(風量切替付タイプ)を接続する場合に使用します。

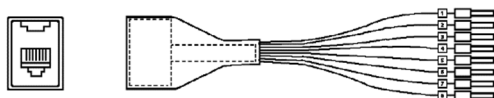


図30 設定器接続アダプタ (形番DY7204A0008)

● センサ接続アダプタ

温度センサをモジュラコネクタで接続する場合に使用します。

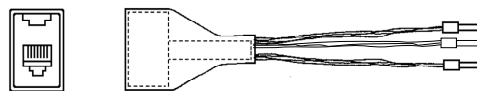


図31 センサ接続アダプタ (形番DY7204A0003): Pt100用

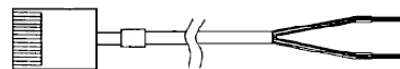


図32 2端子用コネクタ付短距離ケーブル (形番DY7221A): Pt1000用

● モジュラプラグ

モジュラジャックに接続するためのコネクタです。

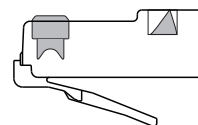


図33 モジュラプラグ (形番DY7207A0100)

● チューブ

本製品のバルブ出力端子に、被膜外径1.8mm以下のケーブルを配線する場合に使用します。

形番83167219-001、または『図35』の外形図を参考にし、用意してください。

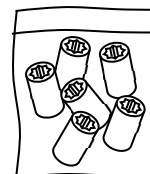
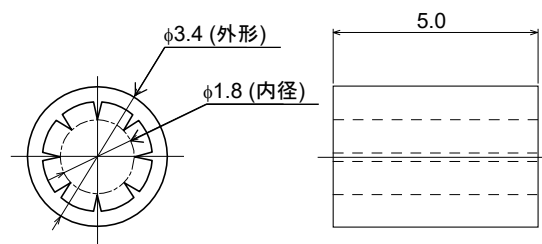


図34 チューブ (形番83167219-001/6個入り)



適応電線 : KV0.5mm²

図35 チューブ外形図 (mm)

●ブラケット小/大

従来製品からInfilex FCに置き換えるときに、従来製品の取付用ねじ穴を活用して取り付けするためのブラケットです。
ブラケットは、2種類の大きさがあります。

- ブラケット(小)
ON/OFFタイプの設置に使用します。

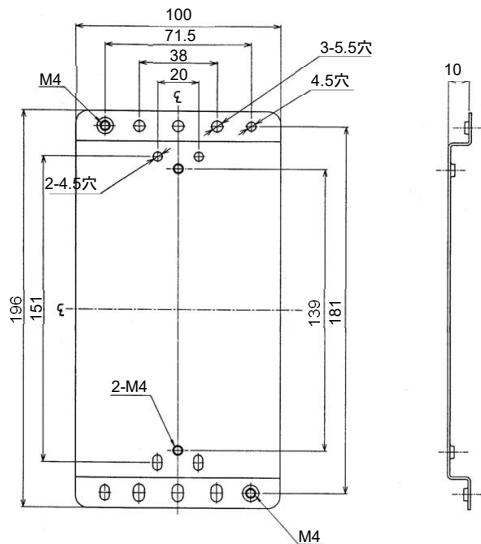


図36 ブラケット小 (形番DY7208A0001)

- ブラケット(大)
比例・還温度制御付比例タイプの設置に使用します。

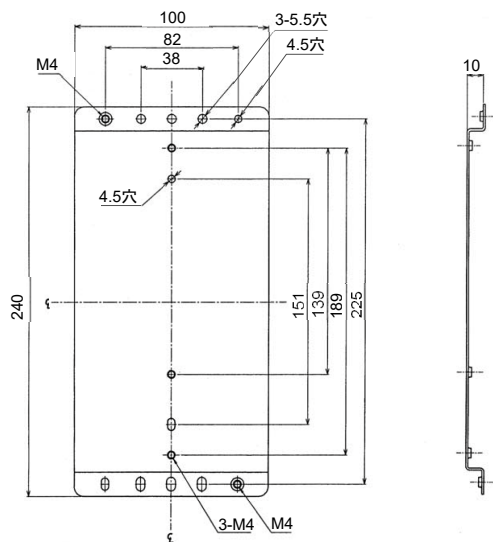


図37 ブラケット大 (形番DY7208A0002)

表8 ブラケット使用推奨例

ブラケット(小) 形番DY7208A0001	ブラケット(大) 形番DY7208A0002
形番WY5205*100*	形番WY5205*2***
-----	形番WY5205*3***
形番WY5205*8000	形番WY5205*9000

■ 工事工具

工事工具として準備している製品の用途を説明します。

●モジュラ用工具

モジュラプラグをLANケーブルに圧着するための工具です。

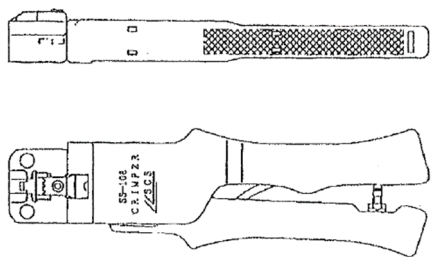


図38 モジュラ用工具 (形番DY7205A0002)

●モジュラ用テスト

モジュラ用工具により取り付けられたモジュラプラグとLANケーブルが正しく圧着されたことを確認するためのテストです。

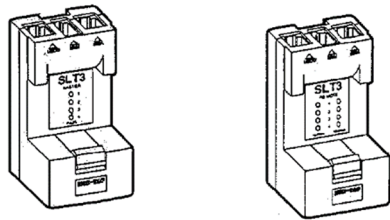


図39 モジュラ用テスト (形番DY7206A0000)

■ ソフトウェア内容

(1/3)

項 目	機 能	内 容	備 考
運転機能 (全タイプ共通)	空調発停	中央監視・外部接点・ユーザーオペレーション機器からファンコイルユニットの発停を行います。	全Inflex FCの個別発停ができます。 外部接点・ユーザーオペレーション機器からの発停と中央監視からの発停は、後優先です。 ^{*2} 中央監視より、ユーザーオペレーション機器からの発停操作を禁止できます。 ユーザーオペレーション機器において「セットバック運転」との併用はできません。
	セットバック運転	設定温度をあらかじめ設定したセットバック値だけ変更します。 中央監視、またはユーザーオペレーション機器からセットバック運転への切替操作ができます。	全Inflex FCの個別セットバック運転ができます。 外部接点・ユーザーオペレーション機器からのセットバックと中央監視からのセットバック運転は、後優先です。 中央監視より、ユーザーオペレーション機器からのセットバック運転を禁止できます。 ユーザーオペレーション機器において「空調発停」との併用はできません。
	設定温度変更	ユーザーオペレーション機器より、設定室内温度を変更します。	中央監視からの設定操作は、後優先です。 ^{*3} 中央監視より、設定値の上下限を指定できます。 ^{*4} 2設定方式に対応できます。 ^{*5}
	外調機からの連動 ^{*1}	同一系統に外調機とFCUがある場合に、外調機の発停に連動し、その系統のすべてのFCUを運転できます。	Inflex ZM1台当たり4系統までです。 「外調機への連動」との併用はできません。 ユーザーオペレーション機器から連動FCUを発停操作しないでください。
	外調機への連動 ^{*1}	同一系統に外調機とFCUがある場合に、その系統のFCUを1台でも運転していると、外調機を連動して運転できます。	Inflex ZM1台当たり4系統までです。 「外調機からの連動」との併用はできません。
制御機能 (ON/OFFタイプ)	温度制御	計測室内温度が設定値となるように、バルブのON/OFF制御を行います。 ^{*6}	-----
	風量制御	計測室内温度と設定値の関係より、ファン風量の多段制御を行います。 多段制御は、L/M/H、L/M/H/OFFのいずれかが選択できます。	風量制御は、風量をAUTOにした場合に行います。 手動でL/M/Hを選択した場合は、その風量を出力します。
制御機能 (比例・還温度制御付比例タイプ)	温度制御	計測室内温度が設定値となるように、PID制御を行い、フローティング弁を操作します。 ^{*6}	-----
	騒音防止制御	水切音を防止するために、バルブが一定開度以下になると、全閉できます。	-----
	風量制御	計測室内温度と設定値の関係より、ファン風量の多段制御を行います。 多段制御は、L/M/H、L/M/H/OFFのいずれかが選択できます。 また利用目的に応じて、水優先・風優先の風量制御を行えます。 ^{*7}	風量制御は、風量をAUTOにした場合に行います。 手動でL/M/Hを選択した場合は、その風量を出力します。
制御機能 (還温度制御付比例タイプ)	還温度制御	ファンコイルユニット送水の往温度と還温度の温度差を一定に保つよう設定された還温度設定値に、還温度計測値を追従させる「還水温度PI制御」と「室内温度PID制御」の2つの制御からバルブ開度制御を行います。	-----

項 目	機 能	内 容	備 考
制御機能 (全タイプ共通)	冷暖切替*1	冷暖切替が必要な場合は、中央監視から次の情報が送られます。 冷房可能/暖房可能/冷暖可能/送風(冷暖ともに不可)	Inflex ZM1台当たり、8系統までの冷暖切替ができます。
	混合損失防止制御*1	連動運転するインテリア空調・ペリメータ空調の間で設定値に偏差をもたせることにより、混合損失を防止します。	Inflex FC1台(または1グループ)に対して、Inflex FC/VCを各1台(または1グループ)設定できます。 連動先装置をユーザーオペレーション機器から操作しないでください。
	外調機給気温度最適化制御*1	環境の快適性および外調機ファン動力削減のため、FCUの負荷状態に応じて外調機給気温度を最適に設定します。	Inflex ZM1台当たり4系統までです。
	V W V/V W T 制御*8	FCUの負荷状態に応じて送水用ポンプを適切に制御することにより、搬送動力を削減できます。 また、冷凍機の出口温度設定を適切に設定することにより、冷凍機の効率を向上できます。	Inflex ZM1台当たり4系統までです。
	空調発停/ バルブ開度/ 風量連動*1	複数のファンコイルユニットを連動して、発停・バルブ開度・風量切替を行います。	同一SC-bus上のInflex FCを連動先にできます。 連動元と連動先のInflex FCのファン出力設定は、同一にしてください。 風量自動時ファン出力は、L/M/H、またはL/Mを選択してください。 連動先FCUをユーザーオペレーション機器から操作しないでください。 還温度制御付比例タイプの場合は、バルブ開度演算の元になる室内温度制御情報を共有し、バルブ開度を各コントローラが独自に決定します。
中央監視機能	個別監視*1 (全タイプ共通)	次の情報を中央で監視します。 発停/警報/室内温度計測/室内温度設定/設定上下限/セットバック偏差/風量切替/バルブ開度/冷暖状態/制御状態*9 (上記のすべてを監視する必要はありません)	-----
	個別監視*1 (還温度制御付比例タイプ)	個別監視(全タイプ共通)の情報のほかに、次の情報も中央で監視できます。 発停/警報/室内温度計測*10 /室内温度設定/還温度設定値/風量切替/バルブ開度/冷暖状態/制御状態/還温度制御状態/還温度計測値 (上記のすべてを監視する必要はありません)	-----
	グループ監視*1*11 (全タイプ共通)	次の情報を複数のInflex FCをグループでまとめて中央で監視します。 発停/室内温度計測*10 /室内温度設定/設定上下限/セットバック偏差 (上記のすべてを監視する必要はありません)	Inflex ZM1台当たり25グループ設定できます(あらゆるグループ分けに対応できます)。 グループ監視する情報は、個別監視できません。 発停をグループ監視・室内温度計測を個別監視などとできます。 1つのInflex FCは、複数のグループに所属できません。
	グループ監視*1 (還温度制御付比例タイプ)	還温度制御付比例タイプ同士のグループの場合、発停/室内温度計測*10 /室内温度設定/還温度設定値を対象とする方法もあります。 (上記のすべてを監視する必要はありません)	-----
	一括操作*1 (全タイプ共通)	中央監視から全部のバルブに対して強制全開・強制全閉します。 これにより、配管フラッシング作業の支援が行えます。	Inflex ZM1台以下すべてのInflex FCに接続されるバルブが一括操作の対象です。 一括操作は、中央監視だけでなくInflex ZMでも行えます。
自動発停機能(比例/還温度制御付比例タイプのみ) スタンドアロン時	発停	FCU電源監視回路が検知するFCU電源のステータスに合わせて、ファンコイルユニットを自動発停します。	- FCU電源がOFFからONになったとき Inflex FC運転 - FCU電源がONからOFFになったとき Inflex FC停止 (運転状態は、パラメータにより設定できます)

(3/3)

項 目	機 能	内 容	備 考
外部接点入力 (比 例/還 温 度 制 御 付 比 例 型 の み)	警報入力	DI1の入力値を警報ポイントに反映します。 DI1の接点が開いているときは、NML(0)とします。 閉じているときは、ALM(1)とします。	-----
	状態入力	DI2の入力値を汎用DIポイントに反映します。 DI2の接点が開いているときは、OFF(0)とします。 閉じているときは、ON(1)とします。	-----
外部接点による連 動機能 (比 例/還 温 度 制 御 付 比 例 型 の み)	警 報 入 力 に よ る 発 停 イ ン ター ロ ッ ク	警報入力“ALM”になったとき、FCUの発停を 停止にします。 そのとき、ユーザーオペレーション機器からの発停 操作を禁止にできます。	スタンダアロン時の自動発停機能との併用はでき ません。
	状 態 入 力 に よ る 発 停 イ ン ター ロ ッ ク	状態入力“OFF”になったとき、FCUの発停を 停止/セットバック運転にします。 そのとき、ユーザーオペレーション機器からの発停 操作を禁止にできます。	スタンダアロン時の自動発停機能との併用はでき ません。

- *1 システム接続時Inflex ZMおよび他コントローラ、中央監視システムと組み合わせて実現できる機能です。
- *2 アナログ設定器の場合は、後優先にはならない場合があります。
- *3 アナログ設定器の場合は、後優先にはなりません。
- *4 還温度制御付比例タイプの場合は、上下限の指定を中央監視から行えない場合があります。
- *5 2設定方式とは、冷房設定と暖房設定を別にもつ設定方式です。
- *6 室内温度制御は、次のバルブの組み合わせで使用できます。
「冷温水弁」、「冷水弁」、「温水弁」、「冷水弁+温水弁」、「冷水弁+冷温水弁」*
* バルブの開順序は、パラメータにより選択できます(例:冷水弁→冷温水弁、冷温水弁→冷水弁のいずれも可能)。
ただし、電源 AC100V仕様の還温度制御付比例タイプは推奨しません。
- *7 「水優先」は、バルブを先に開いて風量の増段を後で行う制御方式です。
これにより、ファン風量を抑え、ファン運転音や強風を避けられます。ただし、還温度制御付比例タイプは、未対応です。
「風優先」は、風量弱のときに、なるべくバルブを開かず、風量が大きくなってからバルブを大きく開く制御方式です。
これにより、コイル出入口の温度差を大きくし、熱源の効率運転が行えます。
- *8 V W V:Variable Water Volume
V W T:Variable Water Temperature
- *9 制御状態は、FCUの負荷状態を表す指標です。
外調機の給気温度制御やV W V/V W T制御に用いられます。
- *10 室内温度計測は、グループ内の平均値、またはグループ代表値となります。
- *11 グループ発停をするユーザーオペレーション機器が接続されているFCUコントローラに、汎用DI連動(インターロック)機能は、併用
できません。
併用すると、汎用DI入力によりFCUコントローラが停止し、同じグループのすべてのFCUコントローラが連動(インターロック)して
停止します。

■ 調 整

調整作業は、特別な知識を要します。
専門の技術を有する人が行ってください。

(1) LED表示を確認します。

電源投入後、十数秒後に状態確認用LEDが点滅することを確認してください。

(注) 1. 点灯し続ける場合は、本製品の異常です。

2. 電源投入直後は、LEDが数秒間点灯します。これは異常ではありません。

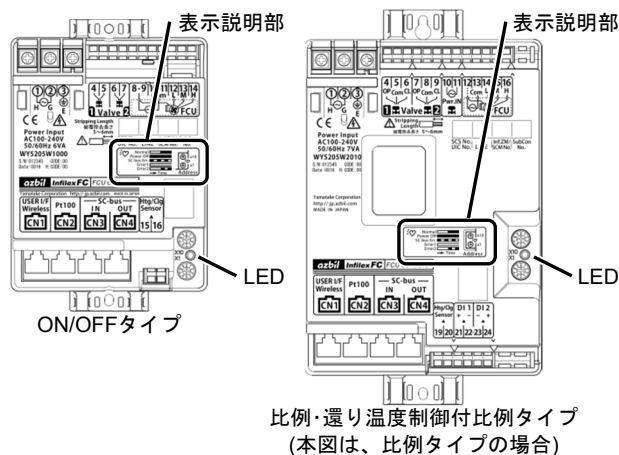
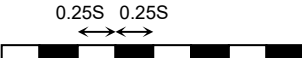
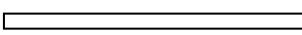
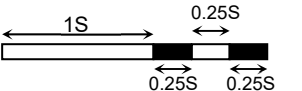


図40

表9 LED表示

状態	LED表示(口点灯 ■消灯)
正常	Normal 
電源OFF	Power Off 
SC-bus異常	SC-bus Err 
イニシャル中 その他異常	Error 1 
軽故障	Error 2 

(2) アドレスを設定します。

アドレス設定スイッチは、本体前面に2個ついています。

矢印の指している数値がそれぞれ、10の位(上側)・1の位(下側)を表します。

なお、アドレスを設定するときは、小型の十字ドライバを用いてスイッチを回してください。

(3) パラメータを設定します。

制御対象FCUの種類・サイズや室内の特性・運用方法などに応じて、各種パラメータを設定します。

Inflex ZMにCF型データ設定器(形番QY5111)を接続し、パラメータを設定する、または本製品本体にH-MMIアダプタ(形番DY7201W0000)を接続してデータ設定器を接続し、パラメータを設定します。

スタンドアロンで使用する場合は、ネオパネル(形番QY7205)で設定できます。

■ 設定器を2台接続する場合

本製品にネオパネル(形番QY7205、形番QY7215、形番QY7225)を2台まで接続できます。

● 接続には、モジュラ分岐ユニット(形番DY7203A0000)が必要です。

● 2台目のネオパネルは、アドレスNo.が「2」となります。

アドレス「1」のネオパネルを2個組み合わせても、正しい動作をしません。

アドレスNo.は、ネオパネルの梱包箱およびベースを取り外した本体内部の銘板に記載されています。

(注) 1. 発停・温度設定は、後優先になります。

2. アドレス「2」のネオパネルには、温度計測機能はありません。

■ ワイヤレス機器との接続

本製品に直接RF受信機を接続してください。

次に制約を記載します。

また、『表10』に接続パターンを記載します。

(注) 1. RF受信機は、1台までです。

2. RF受信機に対して、形番HTY7063Z000R/形番TY7063Z000R/形番QY7265は、任意の組み合わせで2台までです。

表10 Inflex FC接続パターン

必要 設定器 台数	目的	UTアドレス					
		1			2		
		～	センサアドレス		～	センサアドレス	
			0	1		0	1
なし	温度制御のみ		ネオセンサ ワイヤレス(温度)				
	温度制御+計測温度1点*		ネオセンサ ワイヤレス(温度)	ネオセンサ ワイヤレス(温度)			
	温度制御+計測湿度1点*		ネオセンサ ワイヤレス(温湿度)				
1台	温度制御のみ		ネオパネル ワイヤレス				
			ネオセンサ ワイヤレス(温度)	ネオパネル ワイヤレス			
			ネオセンサ ワイヤレス(温度)		ネオパネル(有線)		
	温度制御+計測温度1点*		ネオパネル ワイヤレス	ネオセンサ ワイヤレス(温度)			
			ネオセンサ ワイヤレス(温度)	ネオパネル ワイヤレス			
			ネオセンサ ワイヤレス(温度)	ネオセンサ ワイヤレス(温度)	ネオパネル(有線)		
	温度制御+計測湿度1点*		ネオセンサ ワイヤレス(温湿度)	ネオパネル ワイヤレス			
			ネオセンサ ワイヤレス(温湿度)		ネオパネル(有線)		
2台	温度制御のみ		ネオパネル ワイヤレス		ネオパネル(有線)		
			ネオパネル ワイヤレス	ネオパネル ワイヤレス			
			ネオセンサ ワイヤレス(温度)	ネオパネル ワイヤレス	ネオパネル(有線)		
	温度制御+計測温度1点*		ネオパネル ワイヤレス	ネオパネル ワイヤレス			
			ネオパネル ワイヤレス	ネオセンサ ワイヤレス(温度)	ネオパネル(有線)		
			ネオセンサ ワイヤレス(温度)	ネオパネル ワイヤレス	ネオパネル(有線)		
	温度制御+計測湿度1点*		ネオセンサ ワイヤレス(温湿度)	ネオパネル ワイヤレス	ネオパネル(有線)		
			ネオセンサ ワイヤレス(温湿度)		ネオパネル(有線)		

* 還温度制御付比例タイプの場合は、制御に用いる温度以外の温度計測・湿度計測ができません。

(注) 1. ネオパネル(有線) : 形番QY7205、形番QY7215、形番QY7225

ネオセンサワイヤレス(温度) : 形番TY7063

ネオパネルワイヤレス : 形番QY7265

ネオセンサワイヤレス(温湿度) : 形番HTY7063

2. 温度制御に使います

●本製品以下にRF受信機とネオパネルを併設する場合の条件

- (1) RF受信機(形番GY7020S0002)以下に接続した送信機(形番TY7063Z000R/形番HTY7063Z000R/形番QY7265A)の内蔵センサを温湿度計測に使用する場合、RF受信機のUTアドレスを「1」と設定してください。
- (2) ネオパネル(形番QY7205/形番QY7215)の内蔵センサを温度計測に使用する場合、ネオパネルのUTアドレスが「1」のものを用意してください。

■廃 棄

本製品が不用になったときは、産業廃棄物として各地方自治体の条例に従って適切に処理してください。
また、本製品の一部または全部を再利用しないでください。



本製品は、電気設備に関する十分な知識のない人が触れられない場所に設置してください。

本製品(形番WY5205W10** (ON/OFFタイプ)、形番WY5205W20** (比例タイプ))は、以下の
Electromagnetic Compatibility (EMC)およびLow Voltage Directive (LVD)に適合しています。

EMC : EN 61326-1 Class A, Table 2 (for use in an industrial electromagnetic environment)

LVD : EN 61010-1 過電圧カテゴリ II

汚染度2



이 기기는 업무용(A급) 전자파
적합기기로서 판매자 또는 사
용자는 이점을 주의하시기 바
라며, 가정외의 지역에서 사용
하는 것을 목적으로 합니다.

* アクティバル、スマートスクリーン、スマートポイント、ネオパネル、Inflexは、アズビル株式会社の商標です。

アズビル株式会社 ビルシステムカンパニー

azbil

[ご注意] この資料の記載内容は、予告なく変更する
場合もありますのでご了承ください。

お問い合わせは、コールセンターへ
0120-261023

<https://www.azbil.com/jp/>

ご用命は、下記または弊社事業所までお願いします。